



いつついし自治会報 490号

2019年(令和元年)9月号

第4回町内会長会開催

いつついし自治会
7月町内会長会

7月24日(水)、いつついし自治会第4回町内会長会を福光交流センターで開催しました。

6月の定例会で問題になっていた議題について検討しました。

1. 左義長の在り方について

各町から意見を集約してもらいました。

- ・存続 3町
- ・縮小して存続 9町
- ・どちらでもいい・なくてもいい等 6町

その結果、規模を縮小して存続するという意見が多く出されました。そこで、9月の定例会までに、縮小した案を作り検討することにしました。

2. 町内の安全にかかわる取り組みについて

南砺市防犯協会と協議をしました。そこで話し合われたことについて共通理解をしました。

- ・従来の「福光防犯組合」は18町内の防犯連絡所で構成され、そのまま存続させる。

・「福光防犯組合」はいつついし自治会の安全部に所属し、組合員は各町内の防犯連絡所の連絡員(連絡所がない町内は町内会長)とする。

・防犯連絡所の役割を理解するために、今年中に防犯協会による説明会を行う。この時、防犯連絡員の組織体制を決定し、活動しやすくしていく。

・「子ども110番の家」については、防犯協会の管轄下にあるが、運用は小学校に委ねられている。いつついし自治会として、その機能が十分発揮されるよう、中部小学校と話し合う機会を設ける。

町内会長会では、これからも様々な課題に取り組んでいきます。皆様からも町内会長や各部員を通して、問題点やご意見をお寄せいただきたいと思います。

熱送り太鼓・どんぐり保育園児が“熱追い払う”

7月22日(月)夏の土用三番の日に、恒例のじじ・ばばを乗せた舟を引き、福光の田んぼを熱送り太鼓をたたいて、稲に熱の害を防止する行事を行いました。今年もどんぐり保育園を訪問し、熱送り太鼓を子供達にたたってもらいました。みどり組の園児全員が太鼓をたたき熱払いをしました。農家の方も安全・安心のうまい福光米が沢山採れるようになるかなど、子供達の太鼓たたきを応援していました。



中山道・馬籠から妻籠宿まで汗と暑さとの戦いの散策

西町町内会歩こう会開催

夏本番の8月4日(日)、恒例の西町町内会の歩こう会は中山道馬籠・妻籠宿までの行程約8キロを散策しました。

参加者57名は観光バス2台に乗り、午前11時馬籠館前駐車場に到着。全員で藤村記念館を見学した後、妻籠に向かって歩き始めました。馬籠館(標高600m)から馬籠峠(標高800m)までは日陰の少ない急坂が続き、馬籠宿の風情を味わうこともままならず、暑さと戦いながら高札場、水車小屋を

見学しました。馬籠峠のお茶屋さんでかき氷を食べ、いっぶくの清涼と体の火照りを癒し妻籠の宿を目指し中山道を下りました。木漏れ日が差し込む木曾檜の山道を幕末京都から江戸城までの輿入れした和の宮の話等をしながら、男滝、女滝で涼を取りました。

江戸の宿場町を残す妻籠の町並みを目にしたとき、何かを達成したすがすがしい感動を覚えました。少し厳しい歩こう会だったかな……。

栄町自主防災訓練

7月21日(日)9時30分から「栄町自主防災訓練」を実施しました。南砺消防署から4名、栄町町内会役員・自主防災会の31名、住民4名および消防団6名の計45名での実施です。

- ① 公民館2階和室で、心肺蘇生訓練用の人形を使って「呼びかけ、通報、心拍呼吸確認、心肺蘇生、AED操作」の訓練をしました。
- ② 公民館前広場に移動して、家庭配電盤装置で配電に起因する発火実験に興味深く見学しました。コンセントのホコリが原因で発火する一部始終を見て「気をつけなくちゃ!」と認識を新たにしました。

した。

- ③ 「火が出た!」という事で引き続き、慌てずに初期消火ができるようになることが大切です。
- ④ 最後に消火栓による放水・消火訓練です。地元消防団(福光分団第9班)に手伝ってもらい消火栓からの放水です。栄町町内には消火栓が12か所設置されています。場所は住宅地図で確認できる



るので知っておくことも大切かと思いました。

配電盤
実験装置による
発火実験

福社会館周辺まちづくり協議会活動

南砺市民病院の清水幸裕院長を迎え第3回談議実施



南砺市民病院
清水幸裕院長先生

7月23日(火)午後7時から第3回まちづくり談議を開催しました。講師のテーマは「高齢者の健康管理」で、誰もが常に心がける食事・睡眠について講演していただきました。いつまでも健康に過ごすには健全な食事・運動・腸活をして、できるだけ健康が長続きする人生を送ってほしいとのことでした。人の腸には細菌が沢山生きています。善玉菌と悪玉菌です。悪玉菌を減らして善玉菌を増やし、腸の中を活性化して便秘を減らします。善玉菌はオリゴ糖を増やします。つまり、タマネギ・アスパラ・ねぎ・味噌・醤油・納豆・豆腐・じゃがいも・ニン

ニク・麦類・ヨーグルト等を多く取ります。ヨーグルトは生きたまま腸まで届く物が良く、トクホ食品が一つの目安です。便秘も人にとって大敵。高齢者は大腸の働きが低下し、水分の摂取も少なくなると便秘が増えてきます。水分を多く取り、大腸周辺の筋力を強化(おなかのマッサージ等)、体を動かし便秘を防止し、よく眠り元気な高齢者になりましょう。



多数の参加者

第69回社会を明るくする運動・南砺市民大会開催

7月28日(日)、第64回なんと福光ねつおくり七夕まつりの最終日に、中央会館5階ホールで、南砺市のすべての住民組織団体が集合し市民大会を開催しました。すべての市民が、犯罪や非行の防止・罪を犯した人たちの更生について理解を深め、力を



合わせ犯罪や非行のない地域社会を築くことが目標です。また、市民一人ひとり

が交通安全意識、防犯意識を喚起し、交通事故や犯罪のない安全で安心な南砺市を目指すことを誓い合いました。



大会の最後は、田中市長や関連役員が持つ横断幕を先頭に、参加者全員が七夕飾りの揺れる中、福光駅前から東町、本町、栄町と行進し福光公園に到着。パレードを終了し大会を終えました。

教育青少年部会

保育園父母の会・小中学校PTAとの懇談会 開催

7月2日(火)、いつついし自治会教育青少年部会とどんぐり保育園父母の会、福光中部小学校PTAと福光中学校PTAとの懇談会を福光交流センターで開催しました。

教育青少年部会は、福光地区の子どもたちの健全育成を目指し地域教育を推進するために設置された部会です。子どもたちや子育て中の保護者のみなさんの現状を知り、今後連携して活動を進めるために懇談会を企画しました。

懇談会では、いつついし自治会が発足した目的や組織について説明をした後、父母の会とPTAより活動計画などを聞き課題と思われることについて意見交換をしました。

小学校からは、子どもが少ないこともあり、安心して外で遊ばせることができない状況やPTAが

行っている資源回収について今の形で継続することが難しい現状などが話されました。今後地域としてどのようにしていくべきか多角的に検討する必要があります。課題です。



夏休みを前に地域の大人が子どもたちを温かく見守り、声をかけ、明るい地域にしていけることが大切であり、日常的に情報交換をしながら進めていくことを確認しました。

懇談会は、2学期3学期にも開催する予定です。

親子陶芸教室



7月27日(土)午後、福光交流センターにおいて、福光中部小学校PTA福光地区活動委員会といつついし自治会教育青少年部会との共催による「親子陶芸教室」が開催されました。親子あわせて27名の参加があり、なんと陶芸教室の4名の方の指導により、コーヒーカップやお皿など、世界に一つしかない作品作りを楽しみました。初めてで戸惑って

いた子どもたちでしたが、最後にはとても素敵な作品ができました。この作品は、城端陶芸工房で素焼き、釉薬掛け、本焼きをして、夏休みの最終日に子どもたちに手渡されます。10月の交流センターまつりにも展示されます。



こどもわくわくサロン

7月31日(水)午後、福光交流センターにおいて、ふくみつLOVEの会主催による「こどもわくわく



サロン」の第1回目が開催されました。

12名の小学生が参加し、俳句作りや絵手紙に挑戦しました。で



き上がった俳句は、清書してそれぞれ好きな色の台紙に貼って素敵な短冊に仕上げました。後半は毎年恒例のお茶会で、お茶を点てることといただくことを交代に楽しみました。最後には、簡単なゲームをしました。

第2回は8月8日(木)「福光の昔話とおやつ作り」、第3回は8月31日(土)「親子で福光を知ろう」を開催します。



第4回 そくさい会実施

7月19日(金)午後1時30分よりそくさい会が開催されました。主体となった仏像クイズは馴染みが薄く、如来形や菩薩形・明王形・天部形等の仏像各部の名称などのクイズは説明するだけになってしまいました。日本三大仏では奈良の大仏(東大寺)約15m・鎌倉大仏(高德院)約11mが知られ、3番目は多数の候補がありますが当地では高岡大仏が坐像の高さ7m43cmで



日本三大仏として知られています。立像としては牛久大仏(茨城県)が像高100mで日本一の高さであること等を学びました。

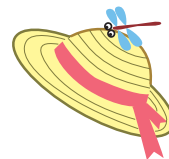
7月の歌として皆で「海」・「うみ」・「われは海の子」の3曲を川合均氏の指導で合唱し、軽体操や認知症のチェックや予防の話等をして終わりました。



ケアネット活動チーム員研修会に参加して

令和元年度南砺市社会福祉協議会主催の城端・平・上平・井口・福光地域を対象としたケアネット活動チーム員研修会が7月18日(木)井口社会福祉センターで開催されました。

いつついし自治会福祉部会から2名が参加しました。各地域づくり協議会の福祉部会メンバーなど参加者50名が7班に分かれ、南砺市社会福祉協議会中山繁實会長の挨拶の後、ケアネット活動の説明を受けました。その後、高齢で介護援助が必要と考えられる事例が示され、これを課題として各グループでどの様な対応が必要か討議しました。その内の3グループが検討内容の発表をし、その後、富山福祉短大の宮嶋教授より講評がありました。各参加者は積極的に議論に参加し、ケアネット活動の理解を深めました。



八月詠草

(福光短歌会)

老い心沈みゆくのを上げみむと旅せし写真を眺むる今は
背後より学生服に追い抜かれビックリ嬉し返す「こんにちは」
われ死は家族葬にと若き等に頼みし令和元年の誕生日
陽光にじゃれ合ふ孫の影二つ輝く瞳に望託さん
カナカナを遠くで聞きし夏の朝 もう少しだけと眼をつむる
祇園祭「動く美術館」の山鉾が都大路を巡行するなり

(福光俳句会)

青葛や垣に大樹に栖霞園
句帳手に予後の口笛青田風
天恵や竹籠に溢れる茄子胡瓜
一端の口きく面輪帰省の子
句にならぬ思ひもどかし立葵
大窓に梅雨夕焼や舞稽古
ひたひたと散居の里を走る梅雨
山青し溶け合ふ緑グラデーション
山下 喜就
名村 五月
中山 朝
利川 輝
尾崎いつ子
大浦 昌美
梅島くにを
駒形 隼男
宮岸 昇
桃野 瑞恵
宮崎 平作
竹本 幸子
斉藤よしえ
山崎 芳子

福光地区 9月行事のお知らせ

- 9/8(日) 敬老会
午後1時より(福社会館)
- 9/11(水) 第4回上映会
午後1時30分より
- 9/17(火) 福寿大学
午後2時より
- 9/20(金) 第4回そくさい会
午後1時30分より
- 9/20(金) 町内会長会
午後7時より
- 9/22(日) 防火大会
- 9/24(火) まちづくり談議
午後7時より